



RATEL WORKS

Instagram

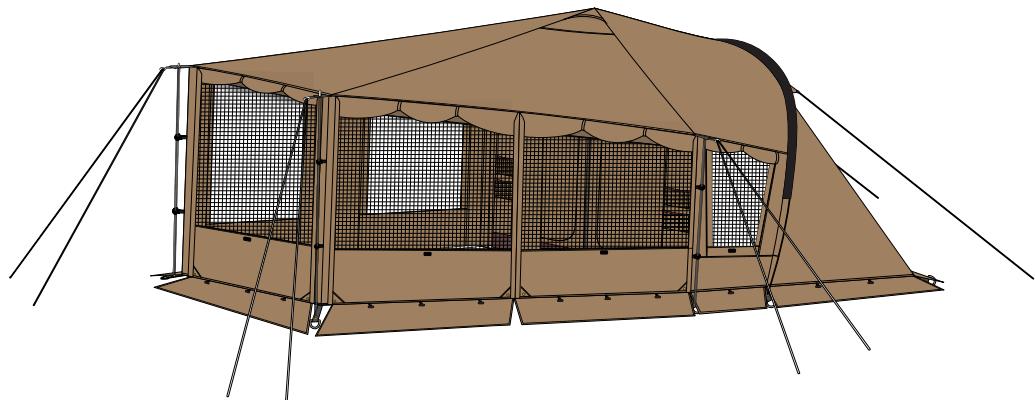


保管用

⚠ CAUTION ⚠

RWS0001 WALTENT

MADE IN CHINA



⚠ ご使用上の注意（ご使用前に必ずお読みください）

使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた商品を安全に正しくお使いいただくために、警告注意事項を必ずお守りください。

⚠ 警告 死亡または怪我などを負う可能性が想定される内容

●使用前に必ず取扱説明書を読み、一度組み立ててください。

キャンプにでかける前に、取扱説明書通りにポール、幕、付属品がセットされているかを確認し、必ず一度組み立ててください。まれに縫製上の不備やセットミスなどにより、テントが建てられない場合があります。テントを収納する時は、ペグ、張り綱、ポールなどのパーツの数量を確認してください。

●テントの近くや内部では火気を絶対に使用しないでください。

テントにほどこされている防水加工生地は、熱に弱く、燃えやすくなっています。火気を使用した場合、テントが燃えたり、ヤケドなどの原因になったりします。テント内部の照明はバッテリー式のランタンや懐中電灯を使用してください。

●テントを使用する際は、定期的に換気をしてください。

テント生地の濡れにより本来のベンチレーション機能が機能しなくなること通気性が悪くなり、最悪の場合は酸欠により死に至る可能性があります。定期的な換気を行うことで結露を低減することにつながります。

●キャンプ場やキャンプ許可地域以外では使用しないでください。

キャンプ場以外でのキャンプは、基本的に禁じられています。川原や中洲などの水の通り道は、急な出水の可能性があるため大変危険です。地盤がしっかりとした水はけがいい平らな場所を選んでください。崖の下や枯れ木の下など、上から落下物がある可能性のある場所は避けてください。

●台風、暴風雨、落雷などの危険な状況下で組み立てや設営をしないでください。

強風の場合、テントをしっかり固定していてもつぶされたり吹き飛ばされてしまう可能性があります。

●本製品のいずれかの部品に異常が見受けられた場合、また異常を感じた場合は直ちに使用を中止してください。

異常のあるまま使用すると思わぬ事故につながる可能性があるため大変危険です。

●小さなお子様のご使用になる場合、保護者の方はお子様から目を離さないでください。

小さなお子様にポールの組み立てやペグ打ちの作業はさせないでください。日中テントの中は高温になる場合があります。熱中症になる可能性があるため大変危険です。

●海外で使用される場合は、事前に弊社までご相談ください。

結本製品は、日本国内での使用を前提としております。海外で使用し、事故などによりケガや損害が生じた場合、十分な対応ができません。事前にご連絡をいただかない場合保証はできませんのでご注意ください。

●『取扱説明書』をお読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

ここには安全上に関する重大な注意事項を示しています。製品を安全に正しくご使用いただき、危害や損害を未然に防止する為に必ず守ってください。

⚠ 注意 傷害を負う可能性・物的損害が発生する可能性の内容

●テントの設営場所は、石や小枝などをあらかじめ取り除いて整地してから設営してください。

テントが破損する恐れがあります。

●ペグやガイロープでしっかりと地面に固定してご使用ください。

風でテントが飛ばされたり、屋根部に雨水が溜まってテントがつぶれる危険があります。テントが吹き飛ばされた場合には、人や車、他のテントなどに当たって大きな損害になる可能性があります。ペグは全数きちんと打ってください。また、補強用張り綱は全数きちんと張ってください。撤収時には、必ずペグを全数抜き取り、数量をチェックしてください。テントは、ペグで固定する前、またはペグを抜いた時、急な突風で飛ばされることがあります。テントが飛ばされぬよう、手を放さないでください。ペグを打つ前に、補強用の張り綱をあらかじめ仮止めしておくという方法もあります。また、撤収時ならば、最後に補強用張り綱を抜けば飛ばされません。

●ポールを扱う場合には、周囲に十分気を配りながら、事故やケガなどないよう設営してください。

通行する人が、張り綱などを避けようと無理な通行をして、ケガの原因になることがあります。昼夜を問わず、通行する人が分かるような目印を張り綱に付けたり、テントのそばに通路を確保してください。ポールは細く長いため、周囲にいる人（特に子供）の目に刺さったり、車などにキズつける可能性があります。

●テントは必ず2人以上で組み立ててください。

1人で組み立てると、テント生地やポールに無理な力がかかりやすく、テントが破損する場合があります。

●組み立て時や折りたたみ時には、本製品に無理な力を加えないでください。

パーツの破損の原因となる場合があります。また、破損したパーツで怪我をしてしまう可能性があるため大変危険です。

●設営収納作業には十分注意し必ず手袋をしてください。

設営・収納作業時には、テントポールのストッパー部分やペグ固定時にハンマーなどで手や指を挟んだりする可能性がありますので、作業中は、必ず軍手等を着用し、怪我や事故のないように十分注意しながら作業を行ってください。

●付属のペグ、張り綱をすべて使用し、テントがたるまないように組み立ててください。

テント生地がたるんでいる状態では、雨天時、天井などに溜まった雨水でテントがつぶれたり、風の力が余計にかかって飛ばされる原因になることがあります。ペグは根本まで地面に打ち込み、張り綱は強いテンション（張力）を保つようにしてください。

●台風や、落雷の時には、キャンプ場の管理担当者の指示に従い、安全な場所に避難してください。

悪天候が予想される状況下で、キャンプを強行する事は非常に危険です。また、悪天候の時には、テント内は安全な場所ではありません。台風など強風が吹いている場合には、テントをどんなにしっかり固定しても、つぶれたり吹き飛ばされたりする可能性があります。また、テントに落雷する可能性もあり危険です。なお、キャンプ場内の避難場所は、必ず事前に確認しておいてください。

●テントを無人の状態では長時間、放置しないでください。

急な天候の変化等により、テントがつぶれたり、飛ばされる可能性があります。テントを置いて避難する場合はテントを倒して、飛ばされないよう重りを乗せるなどしてください。

●就寝時や、強風時、雨天時には、ファスナーの開口部を閉じてください。

夜間、急に天候が変わることがあります。そのため、強風でテントが飛ばされたり、雨水が張り出しに溜まってテントがつぶれる危険があります。

保管方法 ご使用後は、完全に乾燥させてから、日光の当たらない風通しの良い場所に保管してください。

- ①幕体の汚れを落とす場合には、水で洗い流すか、乾燥した状態でブラシなどで払い落としてください。ひどい汚れの場合には中性洗剤を水で薄め、汚れた部分をスポンジなどで軽くこすった後、水で洗い流してください。ただし、強い液性の洗剤を使用したり、強くこすりつたりすると、生地外側の接水加工（テフロン加工を含む）が極端に低下しますので、ご注意ください。
- ②生地の外側を洗う時には、内側の防水コーティング面を傷つけないように注意してください。洗濯機で洗濯したり地面にこすりつけたりすると、コーティング面に傷がつく事があります。また、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。コーティング剤が溶ける可能性があります。

RATEL WORKS

MARUEI CO.,LTD 〒577-0836 大阪府東大阪市渋川町1丁目14-13

Waltent 組み立て方

1 パーツを確認します。

1

2

3

4

× 2 本

× 2 本

ハンマー	ツール バッグ	ガイ ロープ	鋳造ペグ
自在金具	ポール ケース	グランド シート	デイジー チェーン

幕体と上記パーツがセットされているか、確認します。

2 フライシートを広げペグダウンします。

①

②

③

1. フライシートを広げ、サイドのビルディングテープについているループ2カ所をペグで固定します。

2. テントバック(後方外側)についているループ2カ所をペグで固定します。

3. フロントのビルディングテープについているループ2カ所をペグで固定します。

※綺麗に張るコツ※ビルディングテープが繋がっていることを確認し、軽くテンションがかかった状態でペグダウンすると綺麗に張れます。強く引っ張りすぎるとバックルが伸びすぎるのでご注意ください。

5 サイドポールをグロメットに挿入しペグダウン。

④

サイドポール④を上下のグロメットに差し込み、ガイロープでペグで固定します。

※サイドに張るガイロープはテントに対して垂直方向1本のみをペグで固定してください。

※綺麗に張るコツ※このタイミングでサイドも2本のガイロープを張っていただいても問題はありませんが、フロントポール固定後の工程にすることで微調整が可能となり更に綺麗に張っていただけます。

6 フロントポールをグロメットに挿入しペグダウン。

③

フロント

サイド

1. フロントポール③を上下グロメットに差し込み、2本のガイロープをペグで固定します。

2. サイドポールの残っている1本のガイロープを斜め後方にペグで固定します。

3 アーチポールを挿入します。

①

アーチポール①を挿入します。

※ただし、グロメットにはまだ通さないようにしてください。

4 センターポール立ち上げ後グロメット挿入します。

②

センターポール②立ち上げ後にアーチポールをグロメットに差し込んでください。

※センターポール立ち上げ前にアーチポールの先端をグロメットに差し込んでしまうと、フライに負荷がかかり破損の原因となりますので手順は必ずお守りください。

7 インナーテントを吊り下げます。

①

②

インナーテントを吊り下げます。

1. インナーのフロント上部とバック上部にリングがあるのでフックをかけます。

2. インナーバック下部から順にフロント方向に向かいフックをかけていきます。

8 ペグを差し込んで完成

①

②

インナーの入り口中央下部にインナーを固定するためのループがついているのでそれにペグを打ち込めばインナー完成です。